

練馬・生活者ネットワーク区議会議員

菊地
靖枝やない
克子橋本
けいこ区議
レポート No.21

2015年3月25日 No.21
 発行責任者:菊地靖枝
 TEL. 03-3948-6408
 FAX. 03-5999-4632
 メール:net-gikai@jcom.home.ne.jp

トップ ダウン改革ではなく 市民自治への転換を

菊地 靖枝

YASUE KIKUCHI

こんな活動もしています
2014年12月～2015年2月

- 12月 5日 金子勝講演会「自然エネルギーによる地域づくり」
- 17・19・21日 駅頭議会報告会
(練馬駅・大泉学園駅・石神井公園駅・光が丘駅)
- 21日 市民のエネルギーひろば・ねりま「エネルギー・ビジョン」学習会



- 1月 9日 新ビジョン素案学習会開催
- 10日 石神井消防団始式
- 12日 成人の日アピール（豊島園前）
成人のつどい
- 20日 すべての学校に「高校授業料無償化を」
ねりまの会街頭アピール（江古田駅）
- 24・31日 「練馬の未来を語る会」（勤労福祉会館・関区民センター）
- 27日 自治研究センターフォーラム「2015年度東京都予算原案」
- 30日 小学校PTA連合協議会60周年記念式典・祝賀会



▲区長の誤った姿勢を指摘 2/10

- 2月 10日 一般質問に登壇
11日 関町北小子ども会スタッフ参加
- 15日 岩見良太郎講演会
くまちづくりから考える西武線立体化と「外環の2」>



- 18日 私立幼稚園教育研究大会
シンポジウム「練馬区の清掃リサイクル事業を考える～区民に良質な公共サービスを～」
- 20日 「日本と原発」上映会
- 28日

2月6日から3月13日に開催された第一回定例区議会で、区政運営の羅針盤「新しいビジョン」が示されました。しかし、課題となっている「関越道高架下の施設建設」、「外環道青梅街道ハーフインターチェンジ」、「地上部街路『外環の2』」、「大泉第二中学校を分断する道路」では、区長は地域住民との話し合いを避け、住民合意を図らないまま、強引に事業を進めようとしています。

特定秘密保護法施行、武器輸出の解禁、集団的自衛権の行使容認、核を保持するための原発再稼働と、安倍政権の暴走は止まりません。人質事件をめぐる国会質疑で、積極的平和主義の危うさが明らかになりました。テロによる非道は許すことがありましたが、この事件を利用して自衛隊の海外派遣につなげることも許せません。政権は、安全保障関連法案を5月の連休明けに国会提出する方向で動き出しています。憲法を変えて戦争への道を進もうとしていることには、多くの国民が不安を抱き、反対しています。

一般質問では、区長に現状認識についてきましたが、本人

練馬区には2つの自衛隊駐屯地があり、かつてのイラク派遣のように戦場に送られ、命を危険にさらされるかもしれない」と、家族は不安を募らせていました。また、駐屯地周辺もテロの標的になる危険性が高まっています。また、地域から平和をつくる

このような状況に対処するため、私たちはテロを生み出す差別や貧困をなくし、国際社会と連携して多文化共生の意識を広げ、地域から平和をつくる

地域から平和をつくる

は答えず、「高度な政治判断を要する課題について区としての認識を言う考えはない」と、総務部長が答えました。しかし、新潟県加茂市長や三重県松阪市長のように、集団的自衛権行使容認の閣議決定を憲法違反であると、意見表明している首長もいます。

「行政とは改革である」と明言する区長に、区民は練馬区政府の転換を期待しました。しかし、地域住民と区が対立を続いている問題について、反対意見を建設的でないと切り捨て、強引に事業を進める姿勢に、「今までの区政と変わらない」と失望する声があがっています。区政府は開かれるどころか、トップダウンで有無を言わざぬ感じが強まっています。

いかねばなりません。

改革は間違った方向に

2013年に「練馬区在宅療養推進協議会」が発足し、医師や看護師、介護従事者など多職種による話し合いの場が実現しました。しかし、現状では医療機関の間で、安心して在宅での療養ができる相談機能をさらに強化することができるはずです。

「医療と介護の相談窓口」



区議会議員
橋本けい子
<http://khashimoto.seikatsusha.me>

議会運営委員会 文教児童青少年委員会
清掃リサイクル等特別委員会

4月から実施される教育委員会の制度変更では、これまで教育委員が互選で選んでいた教育長を、区長が任命することになりました。また、区長が主宰し、教育長と教育委員が出席する「総合教育会議」が新たに設置され、区長の関与が強まります。

教育委員会は、戦前の国家統制を反省し、公平性・公正性を保ち政治的介入を防ぐために、独立行政機関として設置されました。

しかし、「自分を応援してくれた政党を応援することは当然」と人の責任です。

危うし! 教育の中立



区議会議員
きみがき圭子
<http://kimigaki.seikatsusha.me>

企画総務委員会
医療・高齢者等特別委員会

3年後には、道徳の教科化による愛国心の押しつけなど、教職員いかがります。子どもたちが自由に学び育つ権利を守ることは、大影響を受けることも考えられます。

言葉を放つ区長が、教育現場に関する一定の権限を持つば、教育の中立性を保てなくなるおそれがあります。また、区長が代わる度にその影響を受けることも考えられます。



このテーブルを囲んで5人の教育委員が議論してきた

介護の連携は不充分で、在宅での療養はまだまだ難しい状況です。2015年度、区内4か所の高齢者相談センター本所に「医療と介護の相談窓口」が設置され、医療介護連携推進員が1名ずつ配置されることになりました。介護経験のある医療従事者が、認知症対策も兼任して、支所への相談支援も行います。専門相談員を置くことで、それぞれの地域にある施設や、状況を把握しやすくなり、療養する本人や家族の相談に応えることができるはずです。



この中にある在宅療養相談窓口が4月からは本所に移って、専門の相談員が配置される

2013年発行の財政白書では「将来に向けて持続可能な財政運営を考えるために」というテーマで、「家庭ごみの排出抑制」や「子どもの医療費助成」などを取り上げ問題提起し、中学生にも理解できるような作りになっていますが、ほとんどの活用されていません。

2017年度まで3年間の計画と事業費を示した「アクションプラン」が発表されました。区民意

いま、どの自治体も「財政状況が厳しい」と、言われています。限られた予算で誰もが納得する財政運営を進めていくためには、財政について区民の関心を高め、理解を得る努力が必要です。

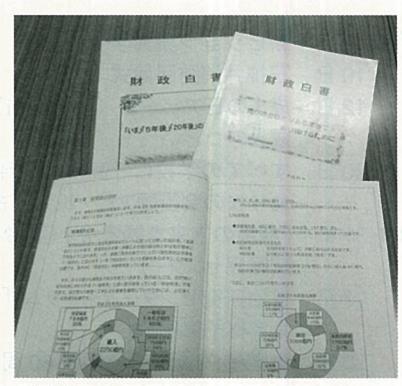
区民とともに 区財政を



区議会議員
やない克子
<http://yanai.seikatsusha.me>

環境まちづくり委員会
交通対策等特別委員会

見を募集する前に、策定のプロセスも含めてわかりやすく説明し、情報を共有すべきです。民主的な区政運営には、積極的な情報公開と区民参加が不可欠です。



財政白書は、区民とともに財政を考えるツールとして活用すべき

学童クラブは 「存続」で!



区議会議員
菊地 靖枝
<http://kikuchi.seikatsusha.me>

議会運営委員会 区民生活委員会
総合・災害対策等特別委員会

子ども・子育て支援新制度により、学童クラブの対象が6年生まで広がります。全児童対策の一歩は事業に一本化して、待機児童解消としている自治体もあり、保護者からは学童クラブがなくなるのではないかと心配する声があがっていました。幸いなことに区は、ひろば事業に引き続き学童クラブを運営する方針を示しています。しかし、学校運営団ひろば事業と一体的に運営する「ねりっこクラブ」に移行するため、学童クラブ廃止の懸念は払拭できていません。

2016年度から実施される「ねりっこクラブ」について、学校応援団の担い手は、何の相談もなく一方的に進める区の姿勢を非難しています。かつて、国の補助金目当てに学校応援団を強引に立ち上げた経過に不信感があるからです。

区はこれまで「放課後子どもプラン」にそつて、学童クラブとひろば事業の連携を進めてきました。



今でも待機児童が多いのに、6年生まで対象を広げることになる児童館内学童クラブ

新設の「ねりっこクラブ」については、放課後子どもプラン運営委員会で十分議論するとともに、関係者の理解を得る努力が必要です。

2015年度予算特別委員会が開催され、大切な税金の使い道が審議されました。前年比2.3%増、約2446億円の一般会計は、物価高と増税に苦しむ生活者の立場で反対。国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計は保険料の値上げで区民負担は増すばかり。制度の抜本的見直しを求めて反対しました。

●区議レポート No.21

発行日:2015年3月25日
発行責任者:きみがき圭子
〒176-0001
練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303
TEL. 03-3948-6408
FAX. 03-5999-4632
Eメール:net-gikai@jcom.home.ne.jp

<http://kimigaki.seikatsusha.me>



練馬・生活者ネットワーク区議会議員

きみがき 圭子

きみがきけいこ

トップ ダウン 改革ではなく 市民自治への転換を

2月6日から3月13日に開催された第一回定例区議会で、区政運営の羅針盤「新しいビジョン」が示されました。しかし、区民と向き合う姿勢が感じられません。課題となっている「関越道高架下の施設建設」、「外環道青梅街道ハーフインターチェンジ」、「地上部街路『外環の2』」、「大泉第二中学校を分断する道路」では、区長は地域住民との話し合いを避け、住民合意を図らないまま、強引に事業を進めようとしています。

きみがき 圭子 KEIKO KIMIGAKI こんな活動もしています 2014年12月～2015年2月

- 12月 5日 金子勝講演会「自然エネルギーによる地域づくり」
7日 日米共同演習「ヤマサクラ」
中止を求める抗議集会・デモ
21日 駅頭議会報告会（光が丘）
25日 福島原発告訴団「不起訴は許さないぞ！ 東京地検前緊急行動」



▼緊急の呼びかけにもかかわらず200人以上が地検前に集まつた 12/25



- 1月 5日 介護保険制度改定に向けて自主学習会開催
9日 八の釜の森（外環道延伸工事のため消失）から発掘された遺跡の調査現場を視察
12日 成人の日アピール（豊島園前）
29日 古賀茂明（元経産官僚）
講演会「市民、地域から日本再生に挑む」



▲成人的日アピール 1/12

- 2月 10日 関越自動車道高架下施設建設の住民訴訟、第1回口頭弁論傍聴
12日 光が丘エネルギー自立都市に向けて「いざという時でも、高層棟のエレベーターは動かせる！」学習会
20日 シンポジウム「練馬区の清掃リサイクル事業を考える～区民に良質な公共サービスを～」
28日 映画「日本と原発」上映会

特定秘密保護法施行、武器輸出の解禁、集団的自衛権の行使容認、核を保持するための原発再稼働と、安倍政権の暴走は止まりません。人質事件をめぐる国会質疑で、積極的平和主義の危うさが明らかになりました。テロによる非道は許すことまできませんが、この事件を利用して自衛隊の海外派遣につなげることも許せません。政権は、安保保障関連法案を5月の連休明けに国会提出する方向で動き出しています。憲法を変えて戦争への道を進もうとしていることに、多くの国民が不安を抱き、反対しています。

一般質問では、区長に現状認識について聞きましたが、本人はこのような状況に対処するために、私たちはテロを生み出す差別や貧困をなくし、国際社会と連携して多文化共生の意識を広げ、地域から平和をつくっています。

「行政とは改革である」と明言する区長に、区民は練馬区政府の転換を期待しました。しかし、地域住民と区が対立を続いている問題について、反対意見を建設的でないと切り捨て、強引に事業を進める姿勢に、「今までの区政と変わらない」と失望する声があがっています。区政府は開かれるどころか、トップダウンで有無を言わぬ感じが強まっています。

自治体の憲法である自治基本条例を制定し、市民との協働をすすめている自治体が増えています。練馬区も、地域のことは地域で決める「市民自治」への転換が必要です。

は答えず、「高度な政治判断を要する課題について区としての認識を言う考えはない」と、総務部長が答えました。しかし、総務部長が答えました。

いかねばなりません。

地域から平和をつくる

特定秘密保護法施行、武器輸出の解禁、集団的自衛権の行使容認の閣議決定を憲法違反であること、意見表明している首長も

新潟県加茂市長や三重県松阪市長のように、集団的自衛権行使容認の閣議決定を憲法違反であること、意見表明している首長も

改革は間違った方向に

●区議レポート No.21

発行日:2015年3月25日
発行責任者:橋本けいこ
〒176-0001
練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303
TEL. 03-3948-6408
FAX. 03-5999-4632
Eメール:net-gikai@jcom.home.ne.jp

<http://khashimoto.seikatsusha.me>



練馬・生活者ネットワーク区議会議員
はしもとけいこ

橋本 けいこ

トップ ダウン 改革ではなく 市民自治への転換を

橋本 けいこ
KEIKO HASHIMOTO
こんな活動もしています
2014年12月～2015年2月

12月5日 金子勝講演会
「自然エネルギーによる地域づくり」
12月6日 練馬区障害者福祉大会・障害者フェスティバル
12月19日 駅頭議会報告会
(大泉学園駅・石神井公園駅)



▲障害者フェスティバル(光が丘) 12/6



▲6月より試運転予定の「練馬清掃工場建替工事」視察 1/26

1月6日 第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)説明会
「練馬の未来を語る会」(Coconeriホール)
1月9日 成人の日アピール
(豊島園前)
1月12日 練馬清掃工場視察
1月26日



▲恒例の「9条アピールとともに「日本と原発」上映会もアピール 2/9

2月1日 映画「うまれる」上映会
9日 9条アピール
20日 シンポジウム「練馬区の清掃リサイクル事業を考える～区民に良質な公共サービスを～」
28日 映画「日本と原発」上映会

危うさが明らかになりました。テロによる非道は許すことができませんが、この事件を利用して自衛隊の海外派遣につなげることも許せません。政権は、安保全保障関連法案を5月の連休明けに国会提出する方向で動き出しています。憲法を変えて戦争への道を進もうとしていることに、多くの国民が不安を抱き、反対しています。

一般質問では、区長に現状認識について聞きましたが、本人は答えず、「高度な政治判断をする課題について区としての認識を言う考えはない」と、総務部長が答えました。しかし、新潟県加茂市長や三重県松阪市長のように、集団的自衛権行使容認の閣議決定を憲法違反であると、意見表明している首長もあります。練馬区には2つの自衛隊駐屯地があり、かつてのイラク派遣のように戦場に送られ、命を危険にさらされるかもしれない。と、家族は不安を募らせていました。また、駐屯地周辺もテロの標的になる危険性が高まっています。

このような状況に対処するために、私たちはテロを生み出す差別や貧困をなくし、国際社会と連携して多文化共生の意識を広げ、地域から平和をつくつています。

自治体の憲法である自治基本条例を制定し、市民との協働をすすめている自治体が増えています。練馬区も、地域のことは地域で決める「市民自治」への転換が必要です。

地域から平和をつくる

特定秘密保護法施行、武器輸出の解禁、集団的自衛権の行使容認、核を保持するための原発再稼働と、安倍政権の暴走は止まりません。人質事件をめぐる国会質疑で、積極的平和主義の危うさが明らかになりました。テロによる非道は許すことができませんが、この事件を利用して自衛隊の海外派遣につなげることも許せません。政権は、安保全保障関連法案を5月の連休明けに国会提出する方向で動き出しています。憲法を変えて戦争への道を進もうとしていることに、多くの国民が不安を抱き、反対しています。

練馬区には2つの自衛隊駐屯地があり、かつてのイラク派遣のように戦場に送られ、命を危険にさらされるかもしれない。と、家族は不安を募らせていました。また、駐屯地周辺もテロの標的になる危険性が高まっています。

改革は間違った方向に

いかねばなりません。

は答えず、「高度な政治判断をする課題について区としての認識を言う考え方はない」と、総務部長が答えました。しかし、新潟県加茂市長や三重県松阪市長のように、集団的自衛権行使容認の閣議決定を憲法違反であると、意見表明している首長もあります。

改革は間違った方向に

「行政とは改革である」と明言する区長に、区民は練馬区政の転換を期待しました。しかし、地域住民と区が対立を続いている問題について、反対意見を建設的でないと切り捨て、強引に事業を進める姿勢に、「今までの区政と変わらない」と失望する声があがっています。区政は開かれるどころか、トップダウンで有無を言わぬ感じが強まっています。

いかねばなりません。

●区議レポート No.21

発行日:2015年3月25日

発行責任者:やない克子

〒176-0001

練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303

TEL. 03-3948-6408

FAX. 03-5999-4632

Eメール:net-gikai@jcom.home.ne.jp



<http://yanai.seikatsusha.me>

練馬・生活者ネットワーク区議会議員

やない 克子

やない
かつこ

トップ ダウン 改革ではなく 市民自治への転換を

やない 克子

KATSUKO YANAI

こんな活動もしています

2014年12月～2015年2月

- 12月 5日 金子勝講演会「自然エネルギーによる地域づくり」
7日 練馬大根引っこ抜き競技大会
17,19,21日 関町葉っぱいまつり
駅頭議会報告会(練馬駅・大泉学園駅・石神井公園駅・光が丘駅)
18日 関北小研究発表会



▲西武池袋線練馬高野台～大泉学園駅高架化完了感謝イベント 1/31

- 1月 4日 高田馬場脱原発ニューアイデモ
9日 新ビジョン素案学習会開催
10日 石神井消防団始式
12日 成人の日アピール(豊島園前)
24,31日 「練馬の未来を語る会」(勤労福祉会館・関区民センター)
29日 古賀茂明(元経産官僚)
講演会「市民、地域から日本再生に挑む」
31日 西武池袋線 練馬高野台～大泉学園駅間高架化完了感謝イベント

- 2月 11日 財政学校
15日 岩見良太郎講演会
<まちづくりから考える西武線立体化と「外環の2」>
20日 シンポジウム「練馬の清掃リサイクル事業を考える～区民に良質な公共サービスを～」
21日 「風の舞」上映会
28日 「日本と原発」上映会



特定秘密保護法施行、武器輸出の解禁、集団的自衛権の行使容認、核を保持するための原発再稼働と、安倍政権の暴走は止まりません。人質事件をめぐる国会質疑で、積極的平和主義の危うさが明らかになりました。テロによる非道は許すことがありましたが、この事件を利用して自衛隊の海外派遣につなげることも許せません。政権は、安保保障関連法案を5月の連休明けに国会提出する方向で動き出しています。憲法を変えて戦争への道を進もうとしていることに、多くの国民が不安を抱き、反対しています。

一般質問では、区長に現状認識について聞きましたが、本人

練馬区には2つの自衛隊駐屯地があり、かつてのイラク派遣のように戦場に送られ、命を危険にさらされるかもしれないと、家族は不安を募らせていました。また、駐屯地周辺もテロの標的になる危険性が高まっています。

このような状況に対処するために、私たちはテロを生み出す差別や貧困をなくし、国際社会と連携して多文化共生の意識を広げ、地域から平和をつくっています。

「行政とは改革である」と明言する区長に、区民は練馬区政府の転換を期待しました。しかし、地域住民と区が対立を続いている問題について、反対意見を建設的でないと切り捨て、強引に事業を進める姿勢に、「今までの区政と変わらない」と失望する声があがっています。区政府は開かれるどころか、トップダウンで有無を言わざぬ感じが強まっています。

自治体の憲法である自治基本条例を制定し、市民との協働をすすめていく自治体が増えています。練馬区も、地域のことは地域で決める「市民自治」への転換が必要です。

地域から平和をつくる

いかねばなりません。

改革は間違った方向に